

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第140号（4. 3. 15） 済生会兵庫県病院の在り方について市民合意の形成を図ることを求める陳情
陳 情 の 要 旨	済生会兵庫県病院に対して、病院の在り方と経営改革の方向についての説明会を行うように働きかけること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市北区 浜 本 宏
送 付 委 員 会	福祉環境委員会

2022年3月15日

神戸市会議長  
坊 やすなが様

神戸市北区

氏名 浜本 宏

電話

済生会兵庫県病院のあり方について神戸市は市民合意形成をはかることを求める

### 陳情

#### 陳情趣旨

第5回「北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会」(略「検討委員会」)が3月3日神戸市で行われました。昨年からの「検討委員会」は徹頭徹尾、「統合再編がのぞましい」との結論を導くための「会」として幕を閉じたと私たちは考えています。

三田市民病院と済生会兵庫県病院の統合再編問題が起きて、今年で5年目を迎えます。当初、「赤字」を口実に三田市長が強引に病院統合再編を進めました。そして、最終的に統合相手は圏域の違う済生会兵庫県病院になりました。

これに対して、私たち市民の側は「済生会兵庫県病院の存続・充実を求める会」「三田市民病院をまもる会」「済生会兵庫県病院をまもる西宮市民の会」の市民組織を立ち上げ、「病院守れ!今の場所で存続・充実を」の声が起こり、様々な運動が展開されました。それは、地域住民の生の声をアンケートで集約したり、三田市での個人請願で一人一人の願いを当局に届けたり、パレードで市民に訴えたりしてきました。そして署名数が5万筆(神戸市・西宮市2万5千筆、三田市2万5千筆)を越える運動に発展してきました。

神戸市が今やるべきことは市民の合意形成のために力を尽くすことだと私たちは考えます。神戸市は「統合再編問題で権限はない。統合再編は済生会兵庫県病院が決めること」と表明しました。(21年12月9日済生会兵庫県病院の存続・充実を求める会との懇談)

統合再編の権限がない神戸市は、「病院存続充実を願う」神戸市北区や西宮、三田市民の声を聞くべきです。

そこで以下のとおり陳情します。

#### 陳情項目

神戸市は済生会兵庫県病院にたいして、病院のあり方と経営改革の方向についての説明会を行うように働きかけること

以上